

平和への願いを込めて

先の大戦から長い年月が経過し、日本においては、戦争体験者や被爆者の高齢化により体験談を直接聞くことができる機会が失われつつあります。そして、今もなお、世界では武力紛争が起り、報道等を通じて目にする光景は、令和の時代とは思えない悲惨なものばかりです。

私たちは、戦争は悲しみと憎しみしか生まないことを改めて認識し、次代を担う子どもたちへ核兵器の恐ろしさや平和の大切さについて継承していかねばなりません。

市では平成17年に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え、これからも子どもたちへ平和の尊さを提唱していきます。

問 市 総務課

☎ 533-5164
FAX 533-5148

非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばらには
青い空と緑にはえる山々
清流のせせらぎ
みのり豊かな田園
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には
子どもたちの歓声が
若者たちの歌声が
軒先からは人々の
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも
同じ人々のくらしと
しあわせがある

しかし 今
地球をおおう核の脅威は
あらゆる命のいとなみを破壊し
かけがえのない平和を
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている
核兵器が
生きとし生けるもの
すべてを破滅しつくして
何も もたらさないことを

私たちは 知っている
すべての人間が手をつなぎ
平和な明日に向かって
力をよせあうことが
どんなに大切で
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から
核兵器を
「持たず 作らず 持ち込ませず」の
非核三原則を全世界に訴え
戦争の放棄 恒久の平和を誓った
平和憲法を
私たちは 守ります

人々の明日にとって
子どもたちの笑顔が
若者たちの明るい未来が
いきいきとした命のいとなみが
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます
核を持つすべての国々に
すべての核兵器を 今 すてよ! と

この市民の声と 願いを
世界に広く訴えるため
ここに米原市は
「非核・平和都市」を宣言する

平成17年6月24日
米原市

米原市 平和祈念式典

戦没者の慰霊とともに
恒久平和のまちづくりを
願い開催します

日 時 8月6日(土)10時～
会 場 ルッチプラザ
内 容 黙とう、戦争に関するスライドショーの上映など
そ の 他 新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者数を制限
することがあります。
問い合わせ 市 社会福祉課 ☎53-5123 FAX 53-5119

市民とともにつくる非核・平和米原市民会議 答申式

7月15日、市役所本庁舎で「市民とともにつくる非核・平和米原市民会議」の渡邊暁彦座長から、市内に現存する忠魂碑の解体を検討し、非核・平和を祈念する新たなモニュメントの建立を求める答申書が平尾市長へ提出されました。現在、市内には戦争の戦没者を慰霊する忠魂碑が12基点在しており、遺族会や自治会により維持管理されてきましたが、老朽化による倒壊の危険性があるため、解体撤去すること、跡地に説明板を設置して平和学習と結びつけること、市全体の平和の象徴となる新たなモニュメントとして、戦争犠牲者の氏名を刻む刻銘板を設置することなどが市へ求められました。

